

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	向小金雨水幹線整備事業			会計	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課			
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	池田 輝昭			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	向小金2、3丁目の市民	意図	・向小金雨水幹線を延伸し、向小金2、3丁目の浸水被害を防ぐ。
事業内容	向小金雨水幹線整備事業のうち、JR常磐線軌道下横断工事を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年5月に下水道事業認可を取得。 平成24、25年度に債務負担行為で支障となる水道管の移設工事をJR東日本に施行委託。 平成26、27年度に市道部雨水幹線工事を実施。 平成28年度に、JR常磐線軌道下横断工事を実施中である（平成29年度に繰越）。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	向小金雨水幹線整備率	3				36
②	設計業務委託成果	6	0	0	業務	↓↓↓	実績値(全6業務)	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成28年度にJR常磐線軌道下横断工事を実施している（平成29年度に繰越）。 ・平成29年度から県道部（県道松戸柏線）に工事着手の予定。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		101,432,120	264,361,900	36,282,560				
事業費(b)(円)		87,612,120	256,831,900	29,417,560				
うち一般財源		57,812,120	89,231,900	6,917,560				
職員給与費(c)(円)		13,820,000	7,530,000	6,865,000				
人役・職員(人)		2.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	・JR軌道横断部の工事を順調に進めるために関係機関との調整を図る。	③取組の課題	交通量が多い県道部における連続的な開削工事となるため、施工の段取りによっては周辺環境に与える影響が大きくなる。
②今年度(H28)に実施した取組	・支障物件の移設を行った。地元住民に対して事業内容について周知した。	④今後の改善計画	・交通規制や周辺住民への悪影響が最小限となる施工方法の調整を実施する。また、沿線住民に施工方法、施工時期について周知する。